

～新潟県拠点情報かわら版～

お知らせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしていきます。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といった御要望がございましたら、直接伺って御説明いたします。

御遠慮なく、お気軽に下記へ御連絡ください。

令和3年6月30日

〇リアル行政手続リポートBOX ～添付書類などの実態を教えてください～

「農水省の〇〇事業は、申請時の書類が多いので、これを減らしてもらえると申請しやすいんだけど・・・」農林水産省の補助金等の申請でこのように感じられたことはありませんか？こうした御意見を募集しますので、MAFFアプリの「マフちやく」から「リアル行政手続リポートBOX」をお選びいただき、農林水産省の補助金等の手続でお気づきのことを是非お送りください。いただいた御意見を参考にして、皆様にとって農林水産省の補助金等がより利用しやすいものとなるよう、手続の見直しを実施してまいります。

リアル行政手続リポートBOX ～添付書類などの実態を教えてください～

第3回意見募集期間：6月30日(水)～7月30日(金)
(4回目以降は今後アプリ内等でお知らせします)

(記載例) ※ 匿名可

市役所職員ですが、〇〇補助金の確認書類の量が多いです。

この書類は〇月に集中するんですが、役所ではこの時期・……の業務があるのでチェックが大変です。

〇〇という申請項目がありますが、他の事業でも提出しています。改めて提出する必要があるのでしょうか。

(添付画像の例)



詳細はこちら→ <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/joho/210630.html>

連絡先

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216 FAX 025-223-2264

あふてらす
農林漁業はじめるサイト

「あふてらす」は、農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方、これからはじめたい方向けの情報を発信しています。



○「農村振興プロセス事例集」を公表しました

農林水産省は、新たな土地改良長期計画(令和3年3月閣議決定)を踏まえ、「多様な人が住み続けられる農村の振興」をテーマに、土地改良事業を契機として地域の主体的な取組を後押しする観点から、農村の多様性を考慮した「農村振興プロセス事例集(第2弾)」を取りまとめましたのでお知らせします。

本事例集は、土地改良事業の実施を契機として特色ある発展を実現した先進的な事例を取り上げ、人の関わりや合意形成といった取組、活性化する農村協働力にも着目しつつ、発展のプロセス等を整理したものです。

土地改良事業に関わる様々な関係者が、将来に向けて具体的なイメージを共有しながら取り組み、多様な農業・農村の潜在力を効果的に発揮させることができるよう、本事例集が地域の手掛かりとなることを期待しています。

第2弾では、新潟県上越市の基盤整備による耕作放棄地解消等の取組が掲載されています。

18 美しいふるさと(農村)維持のため、基盤整備で耕作放棄地解消 【新潟県上越市】 35

- 耕作放棄地の拡大を食い止め、美しいふるさと(農村)維持のため、主産業である地域農業の基盤整備を実施。
- 基盤整備の効果により稲作営農時間が削減されて創出された余剰時間を活用し、地域特産の大根等の生産・加工・販売、新たな園芸導入(らっきょう等)、棚田米ブランド化により農業販売額の増。
- 基盤整備で地域農業の持続性を高めた上で、更なる地域の魅力をイベント参加者や農家民宿の宿泊者へ情報発信。

取組前	取組内容	取組後
<p style="text-align: center;">耕作放棄地の拡大</p> <p>【主要担い手】(農)雪太郎の郷 【営農規模】A=5ha (米4ha、大根1ha) 【販売額】約390万円(作業受託抜き)</p> <p>○ 地域の状況 等高線状に棚田が連なる山間丘陵地帯で、冬期間は3~4mの積雪を伴う豪雪地。また、日本有数の地すべり地帯に位置し農業生産条件の不利な中山間地域。</p> <p>○ 地域の課題やその背景 過疎化、高齢化による離農もあり、地域内に耕作放棄地が散在。地域の活性化が課題に。 (事業前耕作放棄地1.5ha)</p> <p style="text-align: center;">事業取り組み前の地域振興の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H10頃~ 特産の大根関連イベント「雪太郎大根いっぺごとまつり」開始。 ● H15全国初の「どぶろく特区」認定。農家民宿「ほほえみ荘」で製造販売を開始。 ● H18年度 農事組合法人「雪太郎の郷」設立 	<p style="text-align: center;">基盤整備による耕作放棄地解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県営農地環境整備事業(H23~R2) (農山漁村地域整備交付金) 耕作放棄地が散在するエリアを区画整理し、生産区域と保全管理区域に分けて整備。耕作放棄地を全て解消。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">ほ場の生産性の向上と集積・集約化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県営農地環境整備事業(H23~R2) (農山漁村地域整備交付金) 事業を契機に整備後の農地を全て既存の農事組合法人に集積。(集積率100%) <p style="text-align: center;">+</p> <p style="text-align: center;">地域の共同活動での管理体制確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域直接支払(H12~) ● 多面的機能支払交付金(H26~) ● 地域の共同活動として、道路、水路敷の草刈り等の維持管理を実施する体制を確立。 <p style="text-align: center;">+</p> <p style="text-align: center;">新たな園芸導入と米ブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H28~地域産の米をブランド化「雪太郎の郷棚田米コシヒカリ」として直接販売。 ● H30~市農林水産業振興協議会(市、JA)において「らっきょう」の実証栽培開始。 	<p style="text-align: center;">農業経営の発展による法人販売額の増</p> <p>【主要担い手】(農)雪太郎の郷 【営農規模】A=13ha (米8.5ha、そば3ha、大根1.5ha、らっきょう0.1ha) 【販売額】約800万円(作業受託抜き)</p> <p style="text-align: center;">法人の販売額(万円)</p> <p>1000 500 0</p> <p style="text-align: center;">H18 R1</p> <p style="text-align: center;">■米類 ■大根、野菜類</p> <p>※米のブランド化や大根の加工・販売に取組む</p> <p style="text-align: center;">農業を基礎としたイベントや農泊者への地域の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農家民宿「ほほえみ荘」では、地域産食材による郷土料理と地域産のどぶろくでおもてなし。 ● 「雪太郎大根いっぺごとまつり」は昨年で22回目の開催。地域外から多くの人々が訪れ、地域の魅力発信と交流人口の増。(毎年約200名)

地区の特徴
中間地域
水稲・野菜
キーワード
高収益作物
6次産業化
集積・集約化
法人化

詳細は

農村振興プロセス事例集

検索

又は

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/keityo/210630.html>



OGAP、有機農業・環境保全型農業の意欲的な取組を募集します

農林水産省は、食料の安定供給・農業の持続的発展と地球環境の両立に向け、有機農業をはじめとする環境保全型農業を推進するとともに、食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理等の持続可能性を確保するための一連の取組であるGAPを推進しています。

また、令和3年5月に、「みどりの食料システム戦略」を策定したところであり、有機農業の取組面積の大幅拡大や、持続的な農業生産にも資するGAPの導入の推進等を目指すこととしています。

これらの一環として、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰する「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施します。

令和3年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール

応募者募集
締切：9月17日（金）

持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰します。自薦・他薦は問いません。皆様のご応募をお待ちしております。

- 表彰部門：（1）GAP部門
（2）有機農業・環境保全型農業部門**

応募できる方

（1）GAP部門

応募時点で第三者認証を備えたGAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）を取得しており、かつ、継続的なGAPの取組を通じて、農業経営の改善や持続可能性の確保について顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等。なお、実需者と連携した取組についても表彰の対象になります。

（2）有機農業・環境保全型農業部門

有機農業をはじめとする環境保全型農業の取組を通じて、環境負荷低減や生物多様性など環境の保全等に顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等。なお、実需者と連携した取組についても表彰の対象になります。

表彰の内容

農林水産大臣賞 2点以内

- （1）GAP部門 1点以内
（2）有機農業・環境保全型農業部門 1点以内

生産局長賞 6点以内

- （1）GAP部門 3点以内
個別経営の部、団体の部、人材育成の部
（2）有機農業・環境保全型農業部門 3点以内
個別経営の部、団体の部、人材育成の部

※GAPの人材育成の部は、農業教育機関の取組が対象になります。



▲令和2年度 農林水産大臣賞受賞者の皆様

過去の受賞者の取組の詳細はこちら



◀GAP部門

有機農業・環境保全型
農業部門 ▶



応募期間

令和3年6月28日（月）～9月17日（金）

詳細はこちらもご参照ください ▶

主催 農林水産省



詳細は

未来につながる持続可能な農業推進コンクール

🔍 検索

又は

<https://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kankyo/210628.html>



○「ディスカバー農山漁村の宝アワード」(第8回選定)エントリーを募集します

農林水産省では、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」(第8回選定)と称して、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる全国の優良事例を令和3年6月16日(水)から8月31日(火)まで募集します。

本アワードは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものです。

選定された地区に対しては、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」特設Webサイトでの活動の紹介などを通じて、全国的な情報発信を行います。



《 エントリー募集 》

募集期間 2021年6月16日(水)～8月31日(火)



*応募は「ディスカバー農山漁村の宝」のホームページで受け付けています。
*応募の詳細、応募方法は以下リンクでもご確認ください。

「ディスカバー農山漁村の宝」HP
<https://www.discovermuranotakara.com>



詳細は

「ディスカバー農山漁村の宝」

🔍 検索

又は

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/210616.html>

